



庁舎建設事業だより

No.1 令和7年5月 発行:筑後市 総務部 庁舎建設推進室

○ 令和6年度に取り組んだこと

令和6年度で筑後市庁舎建設基本計画を策定すべく、様々な方からご意見をいただきながら、また、情報を発信しつつ事業を進めて参りました。

●基本計画で決めたこと。

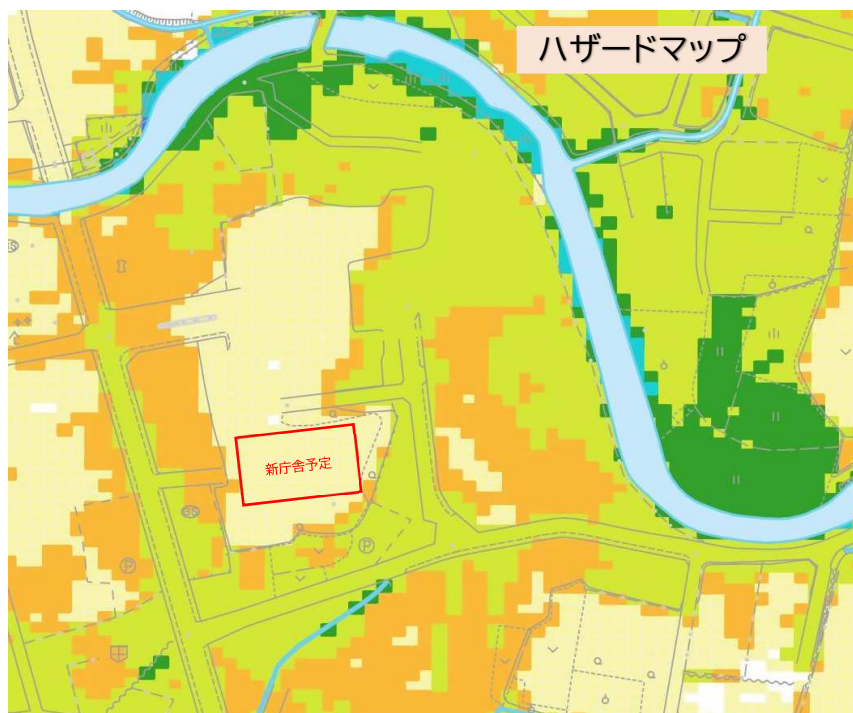
・建設場所 ・事業手法(発注方式) など

●基本構想から見直したこと。

・概算事業費 ・事業スケジュール ・庁舎の規模など

●基本構想から変化した社会情勢を考慮して、盛り込んだこと。

・感染症対策 ・DX(デジタル・トランスフォーメーション)化 ・ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)化
・働き方改革など



凡 例	
浸水した場合に想定される水深(ランク別)	
	5.0m~10.0m 未満の区域
	4.0m~5.0m 未満の区域
	3.0m~4.0m 未満の区域
	2.0m~3.0m 未満の区域
	1.0m~2.0m 未満の区域
	0.5m~1.0m 未満の区域
	0.5m 未満の区域

市議会やパブリックコメント等により、現庁舎敷地及び周辺の水害に対する懸念の声が多く寄せられましたので、県へ確認したところ、様々な災害発生時においてもその役割を果たすことができるよう、市において万全の対策を講じることとのアドバイスがあったところです。このことを受け、市としては、治水対策をはじめ、JR羽犬塚駅周辺地区の内水に対する様々な事業を進めていますので、令和7年3月に、現敷地での建て替えを示した「筑後市庁舎建設基本計画」を策定いたしました。

○ 今年度に取り組むこと

今年度は、現敷地での建て替えとして新庁舎内の配置・構成等を検討していきます。基本計画と同様、基本設計についても、引き続き皆さまのご意見をいただきながら、よりよい庁舎となるように進めて参ります。